

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

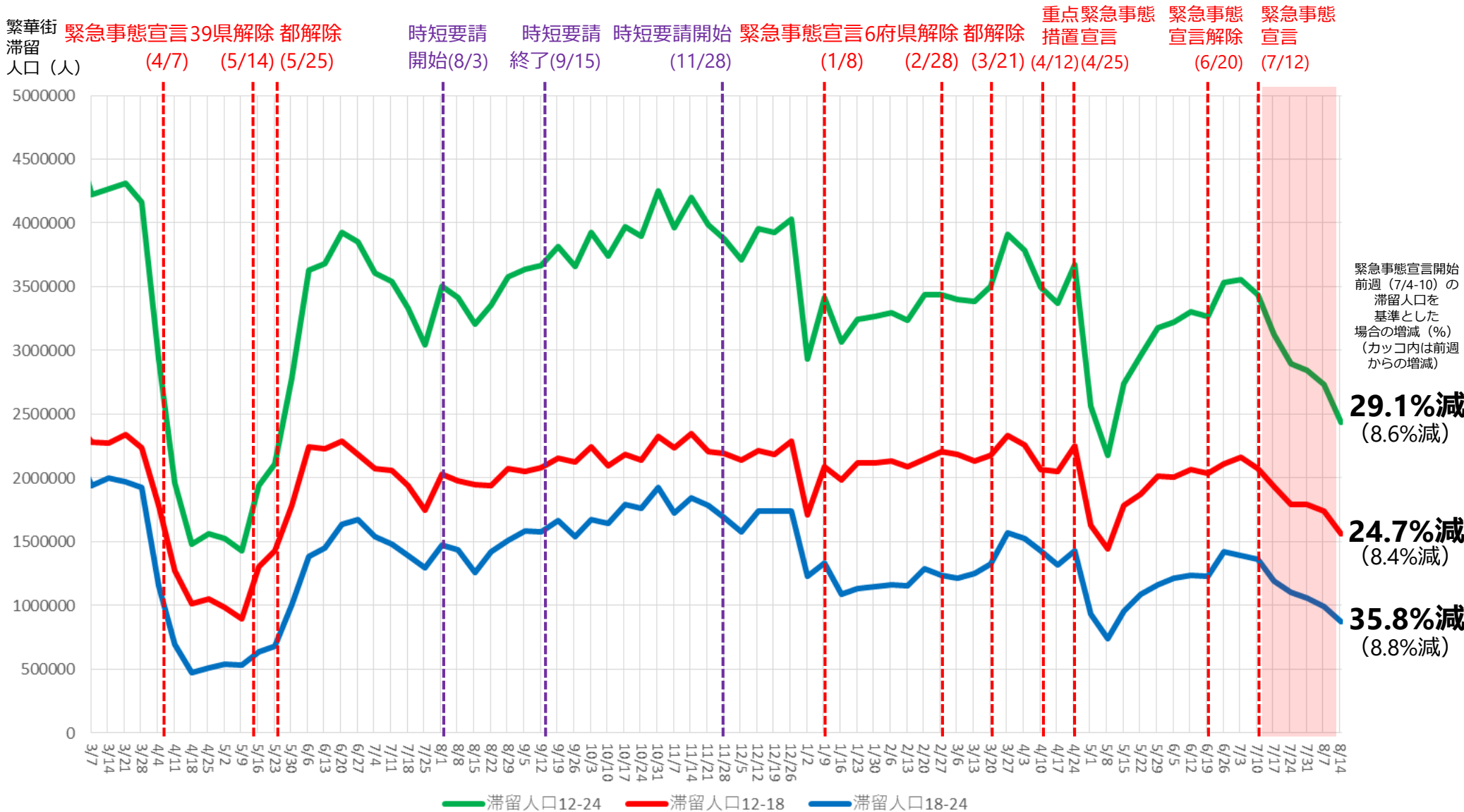
東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

<要点>

- 夜間滞留人口は前週より 8.8 % 減少し、緊急事態宣言前に比べると 35.8 % 低い水準。特に、ハイリスクな深夜帯の減少が顕著（前週比：18.8 % 減）。しかし、お盆明けからは下げ止まっている。
- 依然としてレジャー目的で夜間繁華街に滞留している中高年層（40～64 歳）の割合が高い。テレワークの徹底はもとより、仕事帰りに繁華街に立ち寄らず直帰するなど中高年層の一層の協力が不可欠。
- 大型ショッピングセンター内のフードコート滞留人口は、前回3回目の緊急事態宣言中に比べ高い水準で推移。特に、市部ではコロナ流行前に近い水準で推移しており、滞留人口や滞留時間を抑制していくことが必要。
- お盆期間中の滞留人口の減少を、新規感染者数の減少に着実につなげていくための重要な時期にあり、外出の頻度を極力減らすなど、さらに一段人流を下げることが求められる。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移 (2020年3月1日~2021年8月14日)



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年8月19日）

緊急事態7/12-

繁華街
滞留人口
(人)

時短要請開始
(11/28)

緊急事態宣言
(1/8)

6府県解除
(2/28)

都解除
(3/21)

3府県重点措置
(4/5)

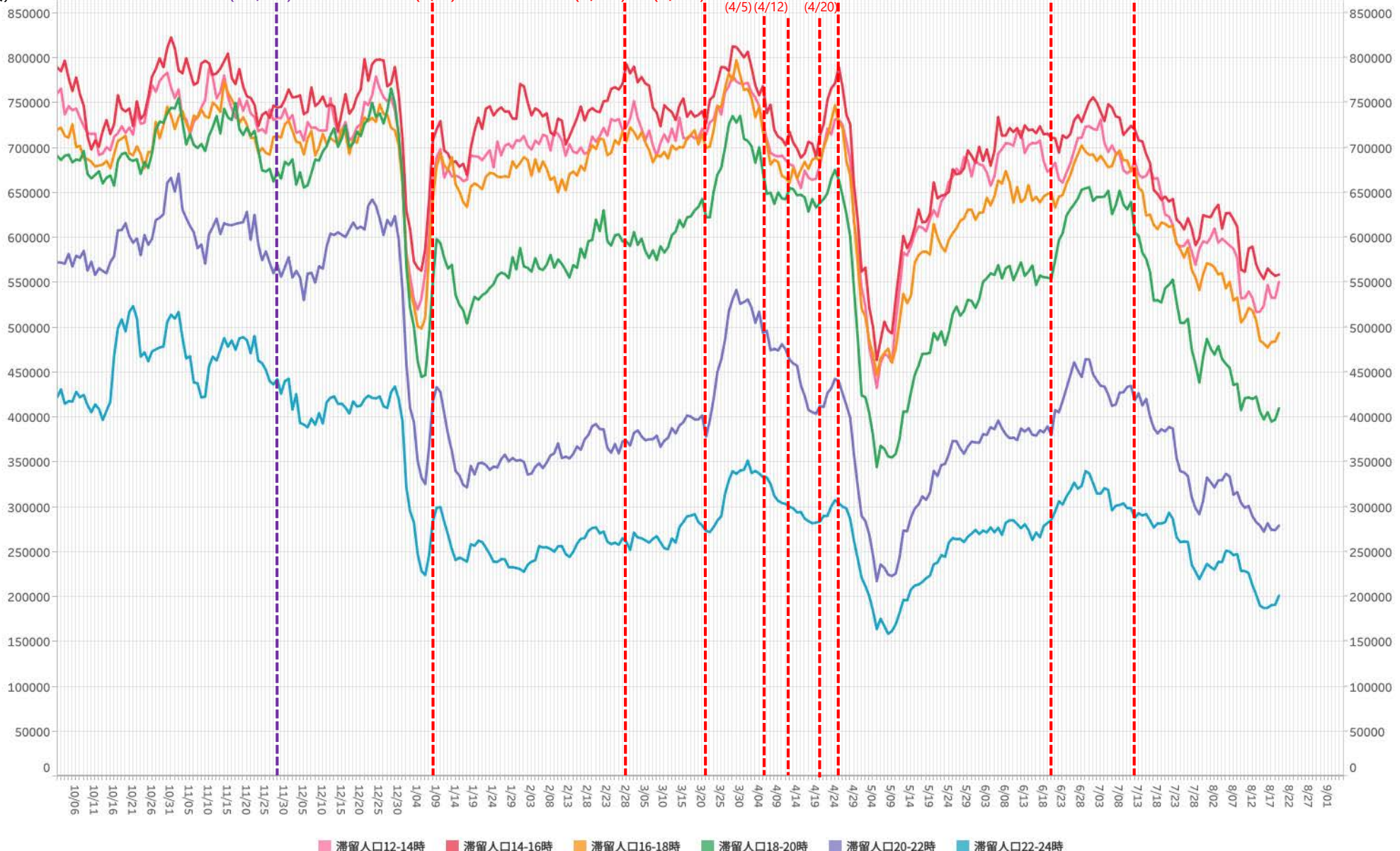
3都府県重点措置
(4/12)

4県重点措置
(4/20)

緊急事態宣言
(4/25)

重点措置
(6/20)

緊急事態宣言
(7/12)



*対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

前回（3回目）宣言時の繁華街滞留人口最低値との比較

	3回目 緊急事態宣言	4回目 緊急事態宣言				
	開始後最低値 (21.5.2-5.8) ※1	2週間後 (21.7.18-7.24) ※2	3週間後 (21.7.25-7.31) ※2	4週間後 (21.8.1-8.7) ※2	5週間後 (21.8.8-8.14) ※2	直近の状況 (21.8.13-8.19) ※2
全体（12-24時）	40.7%減	15.8%減	17.3%減	20.6%減	29.1%減	27.5%減
昼間（12-18時）	36.0%減	13.7%減	13.9%減	16.3%減	24.7%減	22.8%減
夜間（18-24時）	48.2%減	18.9%減	22.5%減	27.0%減	35.8%減	34.7%減
18-20時	47.3%減	20.0%減	22.8%減	31.0%減	35.7%減	35.1%減
20-22時	49.3%減	21.7%減	23.3%減	27.7%減	35.6%減	35.6%減
22-24時	48.5%減	12.7%減	20.8%減	17.6%減	36.4%減	32.7%減

※1 3回目緊急事態宣言直前の週（21.4.18-24）の繁華街滞留人口を100%とした場合の比率

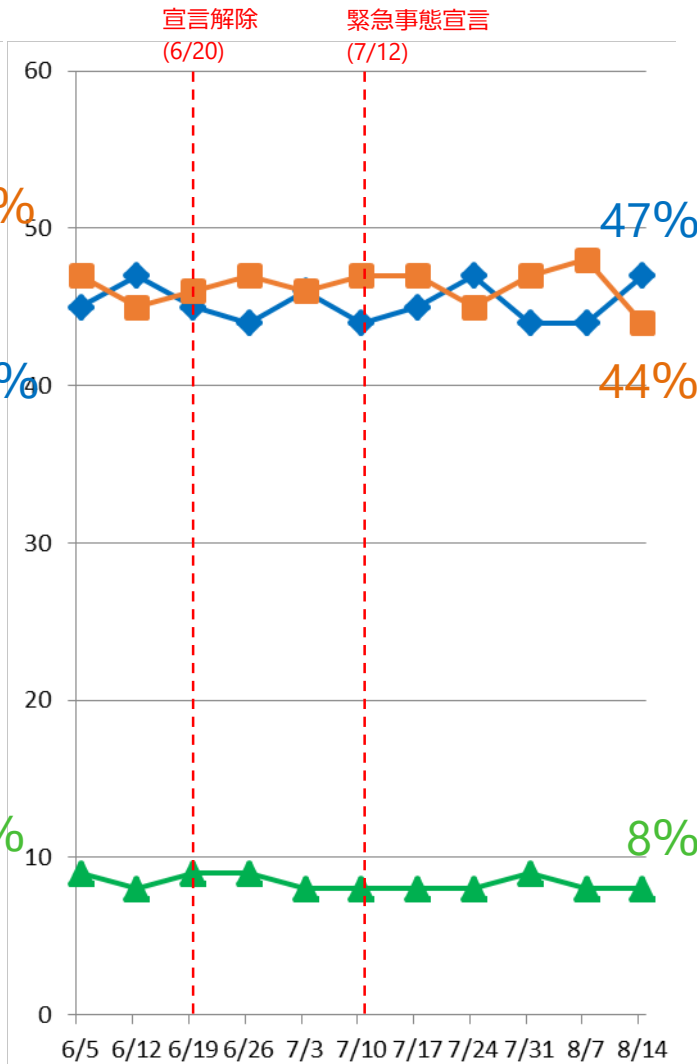
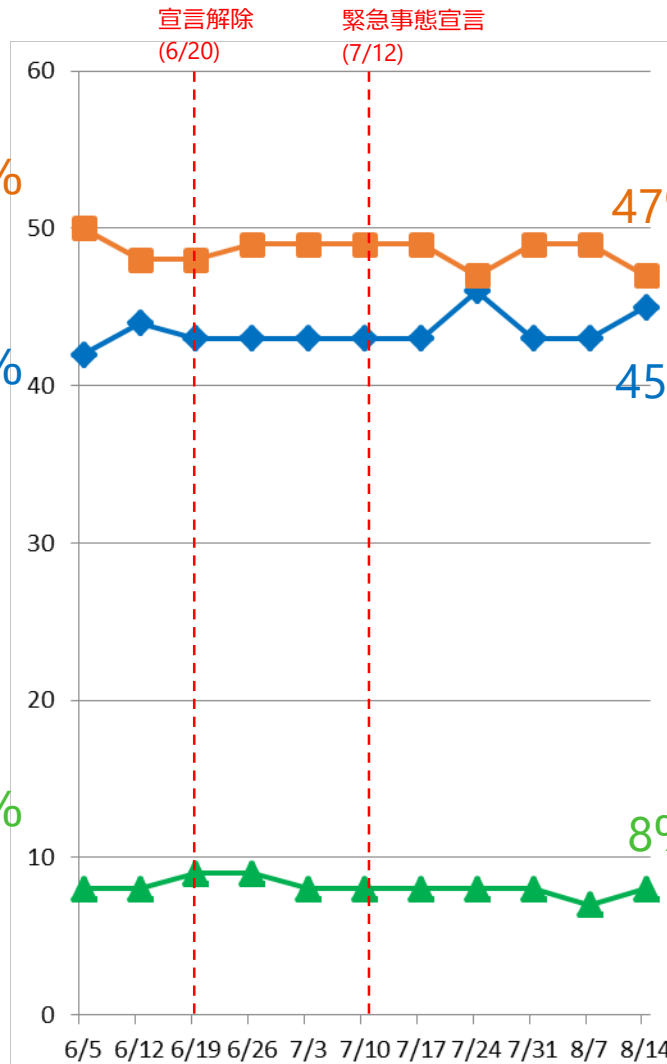
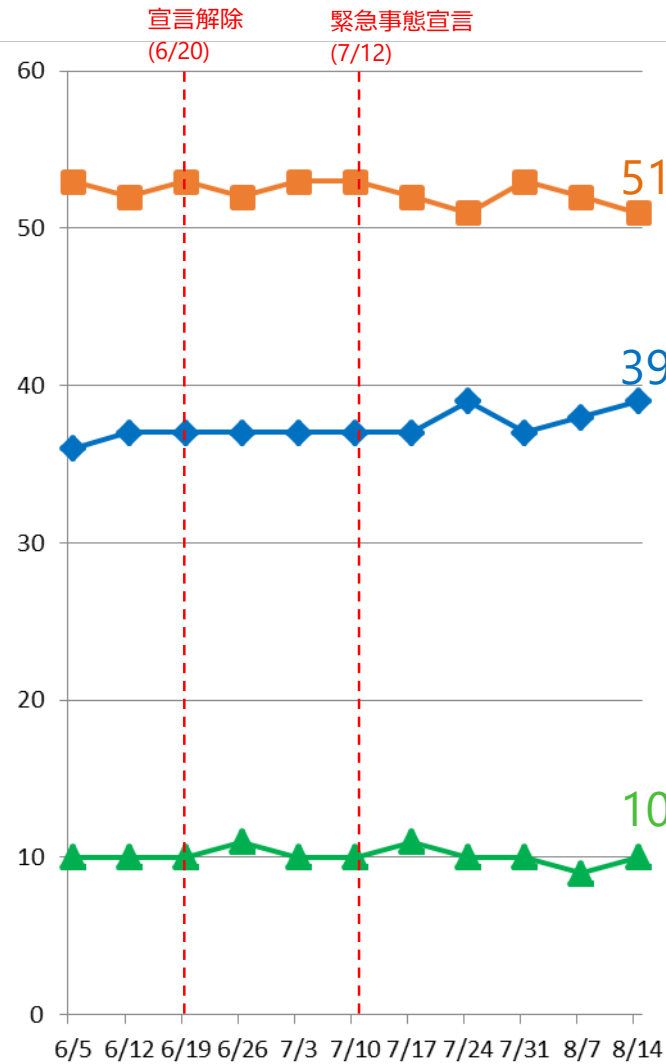
※2 4回目緊急事態宣言直前の週（21.7.4-10）の繁華街滞留人口を100%とした場合の比率

都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率（2021年6月1日～8月14日）

18時～20時

20～22時

22～24時



LocationMind xPop © LocationMind Inc.

15～39歳 | 40～64歳 | 65歳以上

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年8月14日)

緊急事態7/12-

繁華街
夜間滞留
人口(人)

対象繁華街: 上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

滞留人口22-24時

滞留人口20-22時

新規感染者数(報告日)

緊急事態宣言 39県解除 都解除
(4/7) (5/14) (5/25)

時短要請
開始(8/3)

時短要請
終了(9/15)

時短要請開始
(11/28)

緊急事態宣言
(1/8)

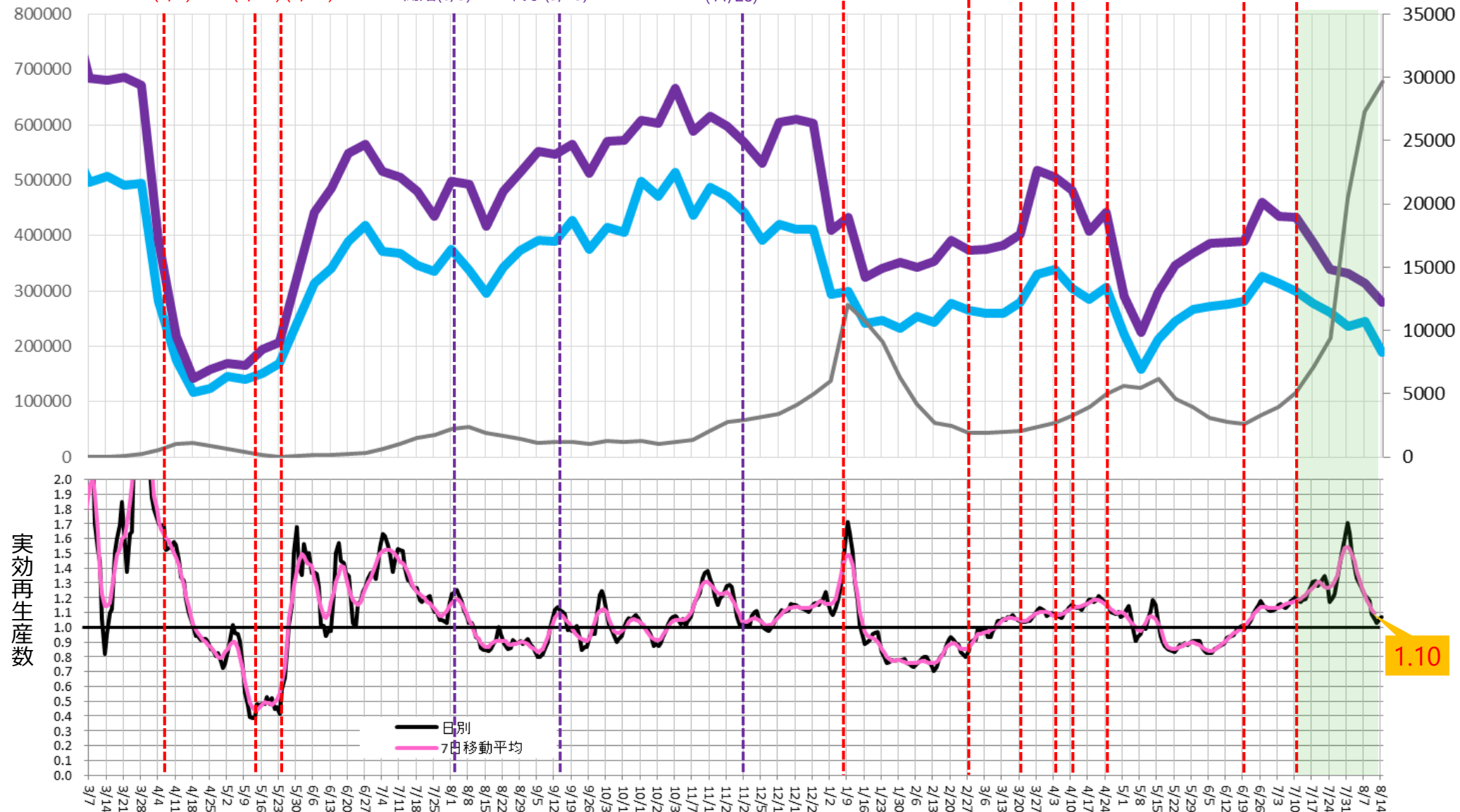
6府県解除 都解除
(2/28) (3/21)

3府県都
重点重点
措置措置
(4/5) (4/12) (4/25)

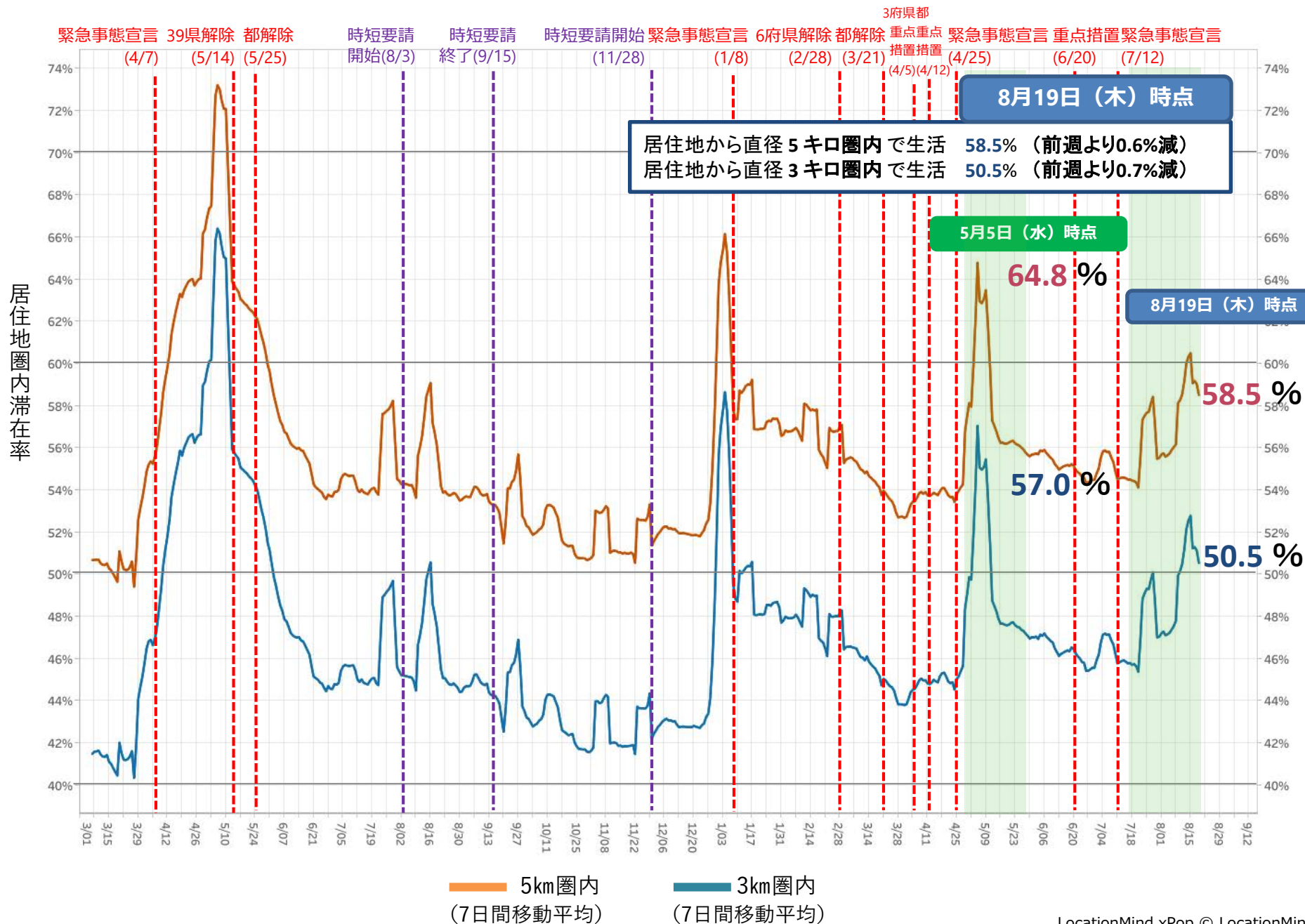
重点
措置
(6/20)

緊急
事態
宣言
(7/12)

週あたり
感染者数
(人)

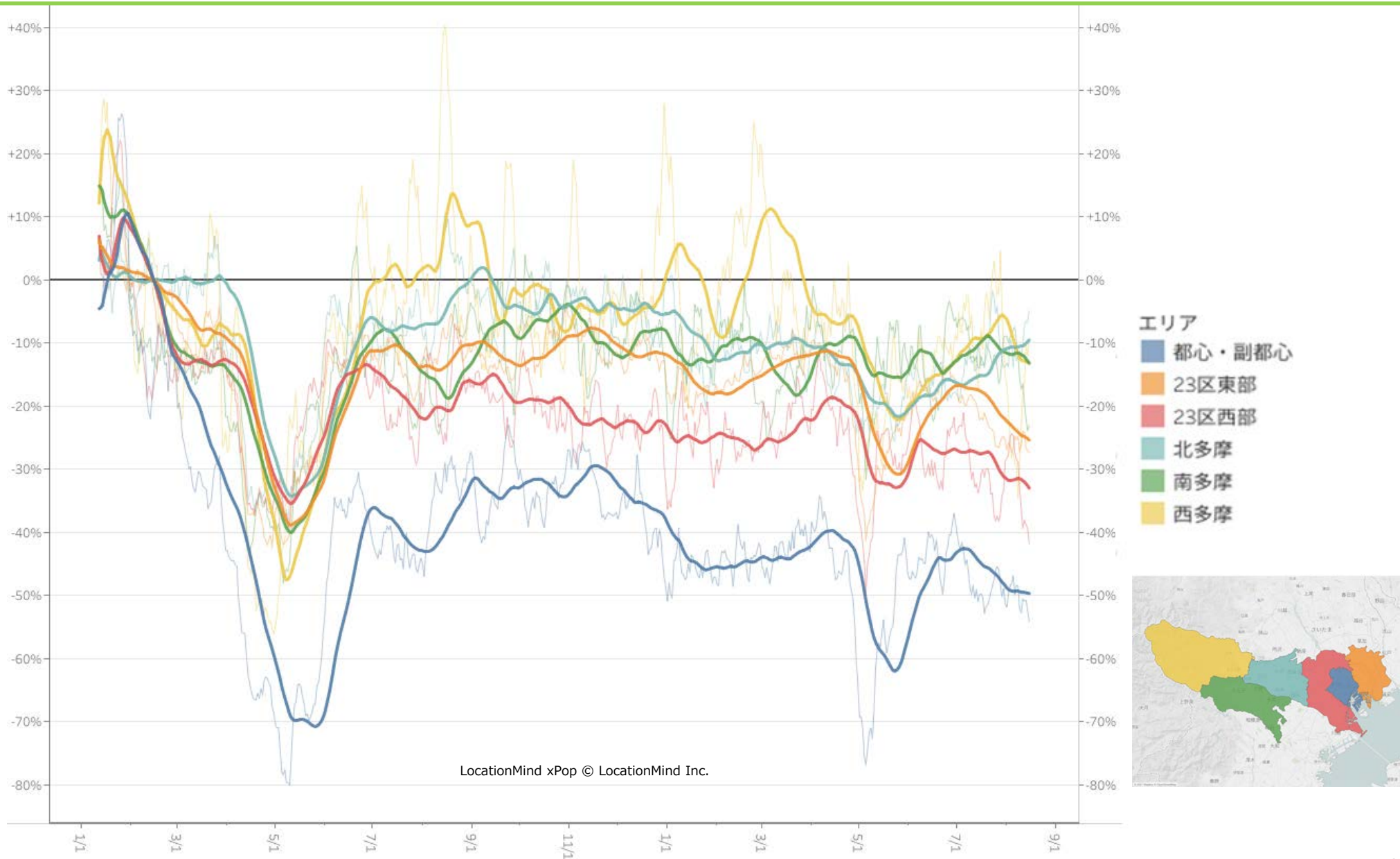


ステイホーム指標（2020年3月1日～2021年8月19日）：東京都内全域



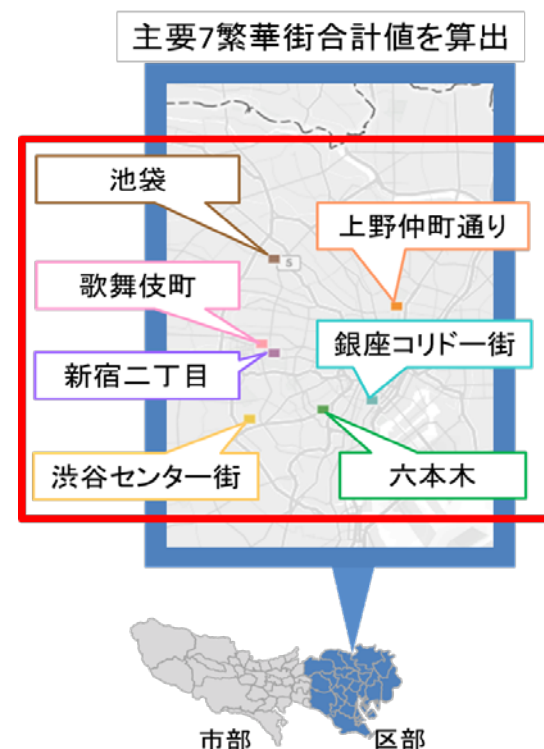
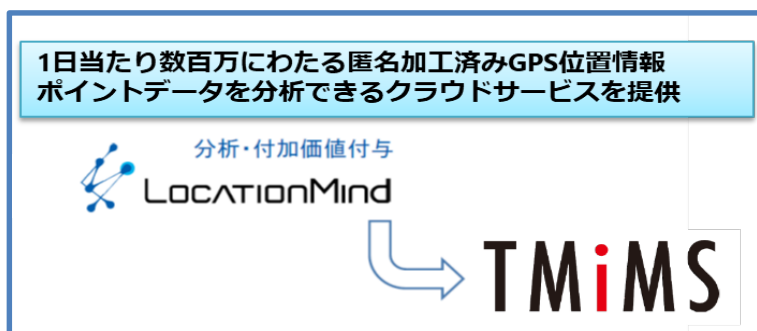
都内大型ショッピングセンター内のフードコート滞留人口推移

地域別：2020.3.1-2021.8.15：10-19時（モニタリング対象28施設）



ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定**※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

※レジャー目的の滞留人口をより正確に把握するために2021年7月より繁華街滞留人口の推定方法を改良している。

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。